

村上原野 縄文土偶展

むらかみ げんや



いとしの
土偶たち

2012 12.1 Sat - 2013 2.28 Thu

——土偶のところに寄り添いたい。ひたすら土をひねっていると、勢いこめたカタチや線が、いにしへの土偶に重なった気がするときがある。愛らしい姿をなぞり、土偶が見つめる虚空に心はせるとき、そこに自分があると感じる瞬間がある。きっと、それこそが自分にとって祈りなんだと思う——

■土偶の造形美と精神性は現代の人々を魅了し、近年世界的に注目されています。大自然に依拠する縄文人の祈りの象徴であった土偶は、生命を宿す母や自然の精霊の姿として豊穡と再生を願い作られました。今回作者は国宝に指定された土偶の名品4点や謎めいた大きな目の遮光器土偶など30点を再現制作し、縄文人の高度な技と心を追体験。中でも緻密な文様が際立つ高さ41.5cmの中空土偶「かっくう」や、ふっくらとしたお腹や腰の曲線が愛らしい「縄文のヴィーナス」などが目を引きまます。豊饒な精神と未来を照らす縄文パワーを若い作者が体得し、更なる現代縄文アートへの挑戦の礎となる展示です。ぜひご高覧ください。

-村上原野-

1987年 北海道の原野に生まれる。札幌市立高等専門学校卒業後、岡山に移住。現在、猪風来に師事し縄文の技法と精神を体得すべく修行中。



猪風来美術館
新見市法曹陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曹609
TEL・FAX 0867-75-2444
<http://www.ifurai.jp/>

【開館時間】午前9:30 ~ 午後5:00
【休館日】月・火曜(祝日は開館) / 年末年始
【観覧料】一般400円 高校生200円